

頁	新（令和元年6月27日）	旧（平成30年10月1日）
<p>P13 成果物の提出</p>	<p>第 19 条 <u>成果物の提出</u></p> <p>1. 受注者は、測量業務が完了したときは、設計図書に示す<u>成果物</u>及び社内審査書を委託業務完了届とともに提出し、検査を受けるものとする。</p> <p>2. 受注者は、設計図書に定めがある場合、又は監督員の指示する場合は履行期間途中においても、<u>成果物の部分引き渡し</u>を行うものとする。</p> <p>3. 受注者は、成果物において使用する計量単位は、国際単位系（S I）とする。</p> <p>4. <u>原則として全ての測量業務に対して電子納品の対象とする。電子納品とは、「調査、設計などの各業務段階の最終成果を電子成果物として納品すること」をいう。ここでいう電子成果物とは、「福島県電子納品運用ガイドライン【業務委託編】」に示されたファイルフォーマット等に基づいて作成されたものを指す。</u></p> <p>5. <u>原則、紙媒体と電子媒体の両方による納品は行わないものとし、電子納品対象項目、成果品納品、検査方法等について、監督員との電子納品に関する事前協議（以下、「事前協議」という。）により決定するものとする。</u>  <u>なお、電子による検査が困難な場合、発注者がA3版程度に印刷したものを用意するか、若しくは、受注者の内部審査、照査に使用した印刷物を利用し受検できることとする。</u></p> <p>6. <u>成果物の提出は、「要領」に基づいて作成した電子成果物を電子媒体（CD-R 等）で1部とする他、事前協議により決定する。</u>  <u>なお、「要領」で特に記載が無い場合あるいは電子データ化が困難な場合については、監督員と協議のうえ電子データ化の是非を決定する。</u></p> <p>7. <u>成果物の提出の際には、目視及び電子納品チェックシステム等により「要領」に適合していること、CAD ソフト付属のチェック機能等により CAD 製図基準に適合していることのチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。</u></p> <p>8. 受注者は測量完了後、「規程」に示す<u>成果物を成果物目録</u>とともに、<u>電磁媒体（CD-R 等）</u>で下記により提出しなければならない。                      (1) 計算簿類各1部                      (2) 精度管理表各1部                      (3) 図面各1部                          (4) その他監督員の指示したもの</p> <p>9. <u>成果物</u>はすべて発注者の所有とし、発注者の承諾をうけないで他に公表、貸与又は使用してはならない。</p>	<p>第 19 条 <u>成果品の提出</u></p> <p>1. 受注者は、測量業務が完了したときは、設計図書に示す<u>成果品</u>及び社内審査書を委託業務完了届とともに提出し、検査を受けるものとする。</p> <p>2. 受注者は、設計図書に定めがある場合、又は監督員の指示する場合は履行期間途中においても、<u>成果品の部分引き渡し</u>を行うものとする。</p> <p>3. 受注者は、<u>成果品</u>において使用する計量単位は、国際単位系（S I）とする。</p> <p>4. 受注者は、「福島県電子納品運用ガイドライン(案)【業務委託編】（以下「委託ガイドライン」という。）」に基づいて作成した電子データ（CD2部）及びこれを出力した紙（簡易製本版1部）により<u>成果品を提出するものとする。</u>  <u>「委託ガイドライン」で特に記載が無い項目については、監督員と協議のうえ、決定するものとする。</u></p> <p>5. 受注者は測量完了後、「規程」に示す<u>成果品を成果品目録</u>とともに、下記により提出しなければならない。                      (1) 計算簿類各1部                      (2) 精度管理表各1部                      (3) 図面各1部                          (4) <u>報告書の大きさについては、A4版を標準とする。</u>                      (5) その他監督員の指示したもの</p> <p>6. <u>成果品</u>はすべて発注者の所有とし、発注者の承諾をうけないで他に公表、貸与又は使用してはならない。</p>